



八火図書館建設予定地の宮原振興局

上田 八火図書館の建設が可能ならば、図書館の場所、規模、内容について、八火図書館整備に関する計画を聞かせてください。また、建設についての財源についてはどうなるのか。町は、八火図書館の創設者光永星郎先生が設立した「電通」との交流はあるのか。

振興局を併設した図書館を考えている

生涯学習課長 図書館の場所については、八火図書館整備検討委員会からの提言で、現在の宮原振興局本館を解体し、宮原振興局を併設した図書館を建設するという内容です。同じ内容の提言を2度受けたことを重く受け止め、この方向で考えております。

図書館と宮原振興局を併設し、図書館の規模は面積420㎡で子供から高齢者まで使いやすい、出入りがしやすい図書館を建設します。財源は、合併特例債と合併関連の補助金9900万円残っていますのでこれを活用できればと思います。

電通との関係ですが、町長と図書館長が電通本社に出向き、支援の話を



八火図書館建設の場所、規模、内容は

上田俊孝 議員

しました。ハードは難しいということでしたがどんな形で支援を受けられるか協議を続けていきます。

道の駅とコラボなど 竜北公園集客アップを

上田 竜北公園の利用状況と今後の利用促進対策はどうなっているか。また、竜北公園は開設して2年目を迎え、立派な横断歩道橋（ひのきみ歩道橋）が完成しました。この歩道橋を利用し、道の駅とのコラボを含め、どのような集客方策を考えているか。

音響照明設備を充実し 利活用促進をすすめる

上田 消防署氷川分署用地計画はあるのか。平成23年1月28日に私たち議員全員で八代広域行政事務組合へ氷川分署開設の要望に出向きました。現在の状況をお聞かせください。また、城南ブロックの進捗状況、負担割合などについて、広域議会の状況を説明していただきたい。

総務課長 基本計画には明記されていませんが日奈久分署の移転改築計画に合わせて事業計画を策定し、今後十分協議しながら進めていきます。火災や救急等の災害に對して迅速、的確な対応が可能な場所を緊急出動

消防救急体制強化のため 氷川分署の設置を

総務課長 竜北公園利用状況は開園後、昨年5月から平成23年11月まで約1年半で約6万5000人、一日平均1100人です。また、土日の来園者は平日の3倍近くあります。開園後、町内外の利用した団体が97団体で約1万3000人です。この他、氷川スポーツクラブの体験教室、野外スティーヂでのコンサートの申請等もあっています。今後の利用促進対策に

については、公園施設、特にお祭り広場と野外スティーヂを中心に、催し物やコンサート、イベント会場としての利用を進めていきたいと考えています。今年度に野外スティーヂの音響照明設備、場内放送設備を整備し、イベント会場として大変利用しやすくなると思います。来年度からは、氷川ツーリズム関係事業、幼保育園、小中学校等に利用増を図っていき、ホームページや広報誌、情報誌等を使って利用発信に力をいれていきます。



広域消防鏡分署



上田俊孝議員

- 八火図書館の建設について
- 氷川町の消防・救急体制について
- 竜北公園の今後の利用対策について

吉川義雄議員

- TPP（環太平洋経済連携協定）問題について
- 公文書の「改ざん」と配布に対する町の対応について
- ゴミ処理対策と広域化問題について
- 学校給食について

有田芳人議員

- 農業活性化対策について
- 氷川町中心市街地整備計画について

三浦賢治議員

- 県営住宅の買収について
- 町営住宅の耐震対策について
- 住宅用火災警報器の設置について

江崎 悟議員

- 学校教育の将来ビジョンについて
- 氷川町暴力団排除条例について

※各議員の質問通告書をもとに作成。
 ※申し合わせでは、掲載する質問項目を2項目までとしていましたが、一部の議員から3項目出されていました。今回に限って掲載することにしました。また、質問と答弁は質問議員の責任で要約したものです。見出しは編集委員会で付けました。